

「小児神経筋性側弯症手術における理学療法介入の検討」へのご協力をお願い

神奈川県立こども医療センター理学療法科では「小児神経筋性側弯症手術前後」の患者さんを対象に「理学療法介入の意義・検討」に関する研究を実施しています。この研究は今後の理学療法介入をさらに変化させ、今後も同手術を受ける患者様に役に立つと考えております。

研究課題名	小児神経筋性側弯症手術における理学療法介入の検討
研究の対象	2018年4月から2025年3月までに、当院整形外科で神経筋性側弯症手術を受け、術前後で理学療法を受けた方
研究の目的・方法 (試料・情報の利用目的及び利用方法)	神経筋性側弯症の手術前後に理学療法介入を行い、早期介入が定着してきた。当院の手術例のデータを利用し、理学療法介入まとめ、その意義・効果を検証し学術集会などで報告する。
研究期間	2023年12月～2027年3月
研究に使用する試料・情報の項目	年齢、身長などのバックグラウンドデータ 手術時間、出血量などの手術に関するデータ 理学療法期間、理学療法内容など理学療法に関するデータ 個人特定情報は利用しません
試料・情報の取得方法	カルテより後方視的に調査
共同研究機関と研究責任者 試料・情報の提供先の機関 (名称と機関の長の名称)	本研究はこども医療センターのみで実施され、試料・情報の他機関への提供はありません。
本研究の情報の管理について責任を有する者・所属	理学療法科 岩島 千鶴子

本研究はヘルシンキ宣言（2013年10月WMAフォルタレザ総会での修正版）及び人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針、個人情報の保護に関する法律等に従って実施され、患者さんの個人が特定できる情報とは切り離れたうえで使用し、個人情報が外部に漏れることがないようにします。また、プライバシーにも十分に配慮して行います。

研究の成果は関係の学会や学術雑誌で発表されますが、患者さん個人を特定できることはありません。

研究者は企業等から独立して計画を立案し実施いたしますので、本研究の結果および解析等に影響を及ぼすことはありません。又は、開示すべき利益相反はありません。

本研究の対象となる患者さんご自身やご家族でお子さんの情報は利用しないしてほしい等のご要望がございましたら、下記連絡先までご連絡ください。この研究においてはあなた又はあなたのお子さんの情報は使用しませんし、既に情報を抽出しているときは削除します。その場合も診療において不利益を被ることはございません。

尚、統計解析開始後は情報の削除ができないことをご了承ください。

本研究についてお尋ねになりたいことがございましたら下記連絡先にお問い合わせください。個人情報等に支障のない範囲で研究計画書を閲覧することもできますのでお申し出ください。また、苦情等の相談窓口はこども医療センター総務課倫理委員会事務局です。

連絡先 研究責任者 地方独立行政法人神奈川県立病院機構
神奈川県立こども医療センター
理学療法科 岩島 千鶴子
Tel : 045-711-2351 内線 2212

相談窓口 地方独立行政法人 神奈川県立病院機構
神奈川県立こども医療センター
総務課 倫理委員会事務局
Tel : 045-711-2351 内線 2212